



# 関中央ロータリークラブ

## 2016-2017 WEEKLY REPORT



**例会日** 毎週木曜日 18時30分

**例会場** 関観光ホテル（関市池尻91-2）

**事務局** 関市西本郷通5-2-53 TEL0575-24-7332・FAX0575-23-5278

**会長**:石原 妙生 **副会長**:川村 紳一 **幹事**:波多野 篤志 **クラブ会報委員長**:吉田 和也

2016~2017年  
国際ロータリー会長  
ジョン F. ジャーム

ロータリーで何か発見を！

2016~2017年度 関中央RC会長テーマ

四つのテスト  
・ 真実かどうか  
・ みんなに公平か  
・ 好意と友好を深めるか  
・ みんなのためになるかどうか

本日のプログラム 第1887回例会 2017年2月2日（木）

関商工高等学校 テーマ「台湾交流の報告」 / 担当 会長・幹事

### 前例会の記録

第1886回 2017年1月26日（木）

会員卓話 前田仁夫会員

「フランチャイズビジネスと私の人生」

担当 国際青少年交換委員会

\*ロータリーソング「我らの生業」斉唱

\*会長あいさつ 石原妙生会長

年が明けこのところ、大変寒い日が続いています。暦では、二十四節気の一つ「大寒」で一年で最も寒い時期と言われております。



日本の各地では大変多くの雪が降ったり、気温も低い日が続いていて、1月15日の北海道上川地方では「-29.7℃」を記録したほどです。

1月17日に関青年会議所（JC）の新年名刺交換会にRCの会長として出席をいたしました。

鈴木新理事長が今年創立60周年を迎えることも有り、「魅力あるまちの創造」・「青年経済人として」等、力が入った所信表明を立派に述べられました。名刺交換時には、JC卒業後は是非我クラブへ入会をとお願いをいたしました。

さて、今年の干支は「酉」です。今日は酉年についてお話しをします。干支の「酉」に当てられた動物は鶏で、夜明けを知らせる鳴き声から中国では吉兆をもたらす動物で縁起が良いと好まれています。酉年は何か新しく物事を始め、挑戦するにはグッドタイミングとされています。さらに「とり」は「とりこむ」にも通じ、良いご縁や商機をバンバン取り込む、商売繁盛の年でもあります。

もう一つ「酉」の字はもともと「果実が熟してきた状態」という意味があるそうで、そこから「まいてきたものが実り、刈り取る時期」、「今までの努力が報われる時期」ということにつながり、商売繁盛にして収穫の時期でもあるということです。

会員皆さんの企業の、商売繁盛をご祈念申し上げます。

\*会員卓話 前田仁夫会員

テーマ 「フランチャイズビジネスと私の人生」

私の仕事につきましては、40年近いロータリーの在籍の中で、過去に何度か卓話などでお話をさせていただきました。私の記憶では、この2~3年の間でも「私の職業と経営理



念」という演題で卓話させて頂いたり、私の会社の亀澤が「ダスキンの企業活動に於ける社会貢献について」というテーマで卓話をさせて頂きました。

フランチャイズビジネスは、アメリカで発展し、全世界に普及し、日本では戦後特に導入されましたが、ダスキンプランチャイズは、ダスキンの創業者故鈴木清一氏によって日本で創られた独自の経営理念のもとに発展し、日本全国20万組織にまで発展しました。特に外食産業などはフランチャイズビジネスが多く、ケンタッキー、マクドナルド、ダスキンのミスタードーナツ、牛井の吉野家またセブンイレブン、ローソンなどコンビニはフランチャイズビジネスの展開によるものです。

フランチャイズ化は企業の本部（フランチャイザー）が、加盟店（フランチャイジー）に、加盟金や売り上げの手数料などを取り、また加盟店は本部から名称・商標・商品の供給や経営のノウハウなどが提供され、一定の地区で販売枠が与えられ営業活動をするものです。

又、ダスキンは、日本で最初に国際フランチャイズ協会に加盟しております。そしてダスキンの創業者故鈴木清一氏はケンタッキーやマクドナルドの創業者と共に国際フランチャイズ協会から栄誉の殿堂賞を受賞しております。ダスキンは日本で唯一のコングロマリットで所謂複合フランチャイズとして、いくつもの事業部制でフランチャイズを事業展開しております。

アメリカや日本に於いても、フランチャイズビジネスは、本部と加盟店との間で、常に訴訟が起き、裁判沙汰になっておりますが、ダスキンの場合は殆んどありません。それは普通のフランチャイズは、契約、契約で本部と加盟店が契約の一本だからです。私達のフランチャイズは本部と加盟店は企業集団の共同体として親子の関係を保ちながら加盟店はエリアの県単位から、東海北陸地区、全国加盟店会という大きな組織を作っているからです。そして私達は本部も加盟店も、経営理念やコンプライアンス、行動宣言「信頼される誠実な企業を目指して」本部、加盟店が同一の目標を共有しているからです。

ここでダスキンプランチャイズの創業者について少し述べさせていただきます。最近、光文社新書から出版さ

れた「掃除と経営」（＝歴史と理論から効用を読み解く＝）という大森信日大教授の本の中で掃除を大切にされた名経営者を一人紹介したいということでダスキンの創業者故鈴木清一氏の紹介がありました。

イエローハットの鍵山相談役やイナ食品の塚越会長といった掃除を大切にする今日の名経営者、さらには松下幸之助氏や本田宗一郎氏といった歴史的な名経営者と同じぐらいにあるいはそれ以上に全身全霊をかけて掃除を大切にされた経営者であると書いてありました。どうしてかと云うと、鈴木清一氏は掃除そのものを本業とする会社を創業したほど掃除に情熱を注いだ人物だったからです。ダスキンは化学雑巾やモップ、マットなどのレンタルや販売ならびにハウスクリーニングを主力事業とする会社であるし、その前に彼、鈴木清一氏が起こした企業、ケントクもまた家庭の床を磨くワックスの製造・販売の会社でした。

創業者鈴木清一氏は20代半ばから京都・山科にある一燈園（1904年に西田天香によって設立された奉仕団体）で修業を重ねて、特に他人の家のトイレを掃除させてもらう「六万行願」という修行を通じて「己の望みを持たざること」「捨て身からの出発すること」「無一物中無尽蔵の尊さを悟った」と聞いています。

ダスキンの経営理念「祈りの経営」などは読み返すほどに他社や他人の常識からすると異様に映るかもしれませんが、しかし、たとえ他社や他人から嘲笑されようとも、会社や従業員が幸せになっていくための新たな企業像や経営観として「祈りの経営」をひるむことなく標榜し続けました。捧げきって祈りの経営、拝み合いの会社、損と得とあらば、損の道を行くんだ。これからは金儲けのための会社を作るのではないんですと鈴木清一氏は言っています。

“物集まざるは恥なり

集めたものを己にするのも恥なり”

掃除を大切にする名経営者は全ての人を同じように大切にしているわけではなく、掃除に代表されるような凡事を徹底し続ける人、報われないかもしれないが、努力をし続ける人を特に大切にすることを表明したのが、経営理念でありました。しかも、そうした彼らが、より幸せとなっていく会社にするための新たな企業像を獲得し、経営理念の中に提示しています。

ちなみに、ダスキンを創業した鈴木清一氏は「私の好きなタイプ」として、めったに口はきかなくとも、めったにお世辞など言わなくとも、自分の与えられた仕事を黙々とやってくれる人。それもくりかえし、くりかえし、同じようにもみえるような単調な仕事を一つひとつ同じであって、同じではない念を押すようにまごころを込めて繰り返し、繰り返し、やるべきことをやりとげるあなた。私はそういうあなたを尊びたい。生きがいとは与えられた運命に、全精力をつぎこんで立派に間違いのない人生を生き抜くことだと思います。ズルイ人間より、誠実ある人間に、かしこい人より好かれる人間になりたい。「鈴木清一の生きかた」

私達ダスキングループでは毎日の業務の始まる前と終わりに、又、会議の初めに“おつとめ”を行っています。これは、創業時より「祈りの経営」の具現化の一つとして「般若心経」や「経営理念」等を唱えながら、朝には一日の仕事に対する決意を、夕には仕事に対する反省を込めて行っているものです。「般若心経」は信仰をこえて、幸せな生活の指導書として多くの方々に親しまれています。私たちは特定の宗教としてではなく、朝・夕のおつとめに於いて「商いを通じて人と仲良くなり、経済をもって、世界平和のお役にたちますように」ということを願い続けているからです。

そして、又、創業の精神を関係者の皆さんと共有し、物も心も豊かな暮らしに貢献することで、継続的な企業価値の向上と“祈りの経営ダスキン”として「経営理念」を定款の中に盛り込んでおります。(株)ダスキン関でも、業務規定の中にこの経営理念を盛り込んでおります。

一昨年、平成 27 年 11 月 16 日ダスキン創業記念日に私は全国ダスキン集団企業 2200 社 20 万人組織を代表して第 7 回ダスキン功労賞を頂きました。私は大阪 吹田にありますダスキン迎賓館に於いて受賞式があり、最後の私がお礼の挨拶を致しました。その受賞のお礼の言葉を再誦させていただきます。

～私は 1970 年 3 月末(S45 年大阪万博が始まった年)勤めておりました商社を退職しました。当時、妻と 7 歳の娘と 0 歳の娘は名古屋に、私は大阪で単身赴任をしておりましたが、又転勤となり、妻や子供たちのことを考え会社を辞め、その年の 7 月に妻と 2 人で、ダ

スキン加盟の東京研修に行き、故鈴木清一会長からダスキンフランチャイズの仕組みや制度について話を聞き、研修が終わり、8 月からダスキンの加盟店として生まれて始めて関市内の各家庭を一軒一軒訪問することになりました。「門前の小僧 習わぬ経を読む」とか「型より入れば心となる」の諺のように私がダスキンの仕事を始めるにあたり「喜びのタネをまこう」とか祈りの経営ダスキン・経営理念のことは研修時に教えられたものの全く精神的なことなのでその行動については理解できませんでした。むしろビジネスに宗教的なものを感じるのは抵抗すら感じました。私は銀行からの借入金のためにフランチャイズビジネスの安全性の方が魅力があり、この仕事を選んだのではないのでしょうか？当時、前田ファミリー 4 人の生活に関わる厳しい問題でしたが、創業 8 年後、現在のビルが建ち、お陰様で売り上げも延びていきました。又、社内的人数も増えてゆきました。創業時、妻が恥ずかしそうに朝礼で、経営理念や年次モットー唱和をしておりましたが、今は大勢の声となり不動のものとなりました。

30 年程前、私の長女がダスキン本社に入社して、名古屋に転勤となり、同じく名古屋に転勤して来た亀澤と結婚し 2 人共本社を辞めて私の会社来て働くことになりました。現在、亀澤は私の会社の社長になっております。次女は 22 年程前、ダスキン東京事務所に入社して、アメリカ研修からの帰国する次女とハワイで私達夫婦が再会できたことが今でも印象に残っております。当時、私はダスキンフランチャイズ全国連合会の理事をしておりまして、ダスキン創業 30 周年記念のハワイ大会があり全国から 35,000 名が参加しました。そして 30 周年記念の記念誌の中に私が投稿した文章が次のように印刷されておりました。・・・私は学生時代、マルクス主義に傾倒し、その頃は物事を唯物論的なもの見方、考え方をしておりました。当時の私には神仏の信仰心など微塵もありませんでした。しかし、十年余りの商社勤めが私の人間性を大きく変えてくれました。私が 40 年近く入会しております国際ロータリーの創始者故ポールハリスは「社会に役立つ人間になるには色々ありますが、最も身近で最も効果的な方法は間違いなく自分の職業の中にある」と言っています。そして私の孫が本社直営大宮支店で来年 4 月から 3 年契

約でお世話になることに成っております。そして現社長亀澤達が中心となり、現在のビルが手狭となり耐震もないことから2017年3月末日完成予定で新しい事務所を関市稲口に創ることに成りました。

2001年支店制度導入の折、現在のビルを開始、当時支店長でした亀澤は（現在は社長）“夢”と書き、私は仕事は、堅実・信望・持続と書きました。16年が過ぎました。私の会社の玄関には当時のこの金属版の文字は今でもなお生き続けております。

50歳の時、禁煙をして太り始めましたので、毎日1万歩32年間歩き続けております。数えたことはありませんが、地球を何回回ったことになるのでしょうか？

また地元関で入会しておりますロータリークラブの例会は40年近くなりますが週1回で約1900回近く一度も休むことなく皆出席を続けております。或いは公益財団法人ダスキン愛の輪基金という障害者を支援する団体で、私は16年間一度も休むことなく出席させて頂きましたが2015年6月無事退任をさせて頂きました。

本日はダスキンの仕事を継承している私の娘と一緒に参りましたが、私と共に40年間私を支え、私以上に働いてくれた私の妻と同伴できなかったのが残念でなりません。多くのお客様、本部の皆様、全国の加盟店様、私の会社の皆様のご指導ご鞭撻のお陰で今日あることを喜んでおります。～

創業者はよく「ほうきはチリを掃くだけでなく、心のチリも掃く 掃除は最も大事な心を美しくする」と言っていました。その他各研究所の視察、式典、晩餐会など緊張の連続でしたが夢のような2日間でした。

ダスキンのフランチャイズは人生の道であること

サービスは人のために 人はサービスのために

S e r v i c e f o r p e o p l e ,  
P e o p l e f o r s e r v i c e

#### \*出席委員会

会員数31名、本日の出席19名です。

#### \*ニコボックス委員会

・会長・副会長・幹事

前田会員、本日の卓話よろしくお願ひします。

19名のご投函ありがとうございました。

#### \*幹事報告

・2月のロータリーレートは1ドル116円です。

#### <次例会の案内>

第1888回 2017年2月9日（木）

関市役所 関市文化財保護センター 森島一貴様  
テーマ「関市の文化財」

担当：ロータリー情報委員会